

海域の概要

本湾は、九州南端に存在する湾で、始良カルデラおよび指宿カルデラによって形成された湾です。湾内には桜島火山が存在します。湾奥には鹿児島港が存在し、九州南部の拠点港となっています。



Specification

諸元

湾口幅：11 km

面積：1040 km²

湾内最大水深：237 m

湾口最大水深：111 m

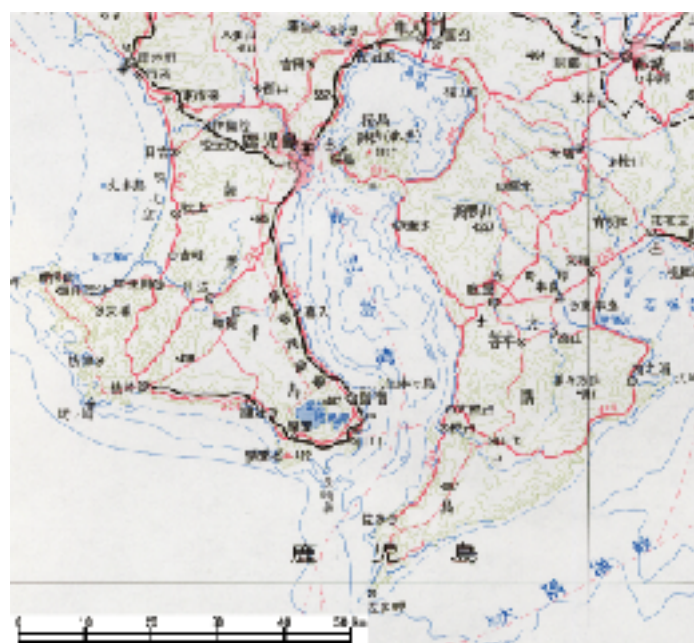
閉鎖度指標：626

備考：環境基準類型指定水域

Location

範囲または位置

鹿児島県肝属郡佐多町立目崎と楯宿郡山川町長崎鼻を結ぶ線及び陸岸により囲まれた海域。



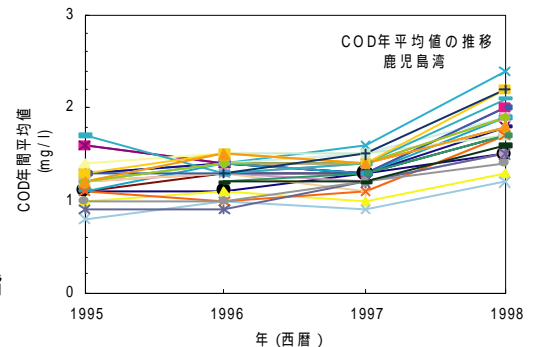
環境

気候は、太平洋岸気候区のなかでも特に高温多雨の地域に属し、台風の襲来も多い地域です。

湾内には甲突川、別府川、雨降川など多くの河川が流入して水質環境に影響を及ぼしています。

鹿児島湾では27地点で水質調査が行われており、一部の地点を除き環境基準はA類型(平成10年度)に指定されています。COD年平均值は、1~2mg/lの範囲で推移していますが、1998年には全地点で悪化する傾向にあります。

鹿児島県では、閉鎖性水域である鹿児島湾の水質や水辺環境を将来にわたって良好に保全するため鹿児島湾ブルー計画に基づき総合的な対策を図っています。



自然

錦江湾と呼ばれる鹿児島湾は、南北に細長く入り込んだ湾で、中央やや北側に世界的な活火山桜島を抱き、水深は最深部では237mに達します。桜島周辺や湾口部は霧島屋久国立公園に指定されています。すぐれた景観も多く、山川町の輝石安山岩からなる岩株、ソテツの自生地(竹山)、噴気現象の見られる山川湾、砂むし温泉のある伏目海岸、始良カルデラ壁が続く桜島、始良町、ビーチロックの古江地区や佐多岬があります。



サツマハオリムシのコロニー

貴重な動植物では、俣川洲でカツオドリやウミウ、山川町で分布の南限といわれるワカメやツマベニチョウ等、指宿市でゲンバイヒルガオの自生北限地、喜入町で太平洋地域の最北限のメヒルギ、鹿児島市でキイレッチトリモチ、園山池で海藻のタケコケモドキ、桜島溶岩上のクロマツ群落、始良町等の帖佐干拓、錦干拓でサギ、カモ、シギ、カモメ、根占町でヘゴの自生地が見られます。

海の生物では、桜島周辺ですぐれた海中景観を形成するミドリイシ、シコロサンゴなどの造礁サンゴやトゲトサカ類の大群落を始め、1300種にも上る貝類や300種以上の魚類がすんでいます。また深海には謎の生物ともいわれる「サツマハオリムシ」などの珍しい生物も見られます。

文化歴史

錦江湾岸は、上野原遺跡(国分市)や、指宿市の橋牟礼川遺跡などに見られるように、何千年もの古くからの文化が育まれてきた地域です。鎌倉時代に始まる島津氏治世を彩る庭園や城跡、明治維新に関する史跡等も数多く存在しています。また、ハンギリ出し(国分市)や曾我どんの傘焼き(鹿児島市)、ごれっそう(根占町)など、古くからの伝統行事も、現在に引き継がれています。

産業

一本釣りをはじめとする多様な漁業が営まれているほか、静穏な海域を生かしたブリ・カンパチ等の養殖、マダイ・ヒラメ等の種苗放流による栽培漁業も盛んです。また、これらの水産資源を生かした薩摩揚げなどの加工品も造られています。

また、天然砂むし温泉で知られる指宿市や山川町をはじめ、湾岸には多様な泉質を誇る数多くの温泉が湧出しており、多くの観光客を集めています。